



宮崎県立

赤江まつばら支援学校



青空に向かって伸びる松の若芽は校訓の「のぞみ高く」を、太い線は「粘り強く」を象徴しています。

所在地 〒880-0911 宮崎市大字田吉 4977-371
電話番号 0985-56-0655
FAX番号 0985-56-0656
ホームページ <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/9934/>

校 訓

のぞみ高く ねばり強く 誇りを胸に チャレンジャーであれ

1 赤江まつばら支援学校の特徴

(1) 全国で唯一、幼稚部から高等部まで設置されている病弱特別支援学校

昭和51年創立、慢性疾患や身体虚弱のために長期入院や生活支援を必要とする幼児児童生徒のための学校です。障がいが2つ以上ある場合には、重複障がい学級で発達段階に応じた指導を行っています。

(2) 病気の治療をしながら学べる学校

隣接する独立行政法人国立病院機構宮崎東病院で診断を受け、入院あるいは通院治療している幼児児童生徒に、幼稚園・小学校・中学校・高等学校等と準ずる教育を行っています。昨年度より新設された児童精神科に入院している児童生徒も対象となりました。県立宮崎病院や宮崎大学医学部附属病院で治療を受けながら、自宅から通っている児童生徒もいます。また、自宅が遠い児童生徒のための寄宿舎も学校の敷地内にあります。

病気が回復し安定すれば、元の学校に戻ります。宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院に長期入院して、登校することの出来ない小・中学部の児童生徒への訪問教育も行っています。

(3) 個性を尊重した教育活動を展開

幼児児童生徒の実態に応じて様々な授業を行っています。少人数の中で一人一人に応じた教育内容や方法を工夫しています。松林に囲まれた自然豊かな環境の中での体験学習も盛んです。特に高等部では、進学や就職を希望する生徒一人一人のニーズに合わせ、必要な学習環境を準備したり、キャリア教育実習等を実施したりしています。また、地域の小学校・中学校・高等学校と交流及び共同学習を実施しています。

(4) 教育相談を常時開設

一人一人の本校入学における悩みに応じて、教育相談をしています。学校見学の希望がある場合は問い合わせてください。高等部卒業生の過去数年間の進路先を（3 高等部卒業後の主な進路）に掲載しています。なお、本校高等部に入学を希望する場合は、9月から12月のまでの間に教育相談をお願いします。

2 在籍者数（平成30年度5月1日現在）

	幼稚部	小学部	中学部	高等部1年	高等部2年	高等部3年	計
本校	0	12	10	5	4	7	38
訪問		4	2				6
計	0	16	12	5	4	7	44

3 高等部卒業後の主な進路

進路	進路先
進学	宮崎国際大学(H23)、南九州短期大学、宮崎看護専門学校 など
就職	公務員（西都市役所）、サクラプリンテック、タイヨーグランド、タマホーム、ジオテック、川南病院、勝田被服、ANAホリデーインリゾート宮崎、宮崎銀行、日本剣道具製作所、ヒューネル都城支社、ハッピーもも など
施設・作業所	向陽の里、アートステーションどんこや、サニースマイル、ウイングル宮崎センター、デイサービスセンターあゆみ、うからの里高鍋事業所、清水台通所センター、THSR a C o o、宮崎リハビリテーションセンター、CADセンター、さくらさくら、桃net、はばたき福祉作業所、ひまわり、Grow-up松橋、あかつきなど
在宅・医療継続	在宅、施設入居待機者、デイサービス利用、継続療養

4 本校のさまざまな活動の様子



〔運動会や学校祭〕

幼・小・中・高全校生で体育祭や学校祭に取り組みます。



〔修学旅行〕

高等部は昨年、東京方面に修学旅行に行きました。今年度も東京方面に行きます。



〔芸術活動〕

本校では、美術、書道、音楽などの芸術活動に力を入れています。この作品は全国的な賞を何回も取った卒業生のものです。

5 本校からのメッセージ

病気などで地域の学校に通うことができない人たちのためにある学校です。学校では、療養しながら学び、学習できなかった部分を取り戻せるように工夫しています。相談したいことや気になることなど何かありましたら、遠慮なく御連絡ください。